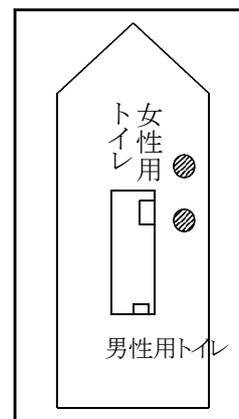


2020年8月5日(水) マイカ 美浜釣舟センター 宝生丸 美浜町早瀬
大潮:旧6月16日 満潮 14:25(49cm) 干潮 22:02(16cm) 満潮 翌日05:02(39cm) 敦賀
自分 マイカ 13杯 ツレ:マイカ 15杯 スルメイカ 1杯

17時30分 釣り座のくじ
18時00分 出船
22時02分 干潮(16cm:敦賀)
0時05分 納竿



【マイカ仕掛け】 自作仕掛け おもり 60~100号持参 使用60号
胴付き仕掛け スツテ2.5号 幹糸フロロ6号 枝間1.2m ハリス5cm フロロ3号
自分・ツレとも 上から

ケンサキSP赤緑、シリコンスツテ赤白市松、エギ、赤、ケンサキSP赤白、

※自分:エギ1.5号 ツレ:エギ2号

ともに一杯も掛からなかった。次回から使わない。別のエギを考えたい。

イカメタル用 竿 YOIKA BB 64M210 リール 鯛釣りに使っていたものを使用

オモリグ・イカメタル用 キス竿 リール キス釣りに使っていたスピニングリール

※いずれも道糸PE1号、リーダーはフロロ3号を1ヒロ付けた。

※竿受けも準備した。

イカメタル

自分 鉛スツテ:四ツ目20号 赤緑 ドロPPER:アオリーQ1.8号 オレンジ
イーゼースリム赤白

ツレ 鉛スツテ:四ツ目20号 赤白 ドロPPER:アオリーQ1.8号 ピンク(BLP)

※四ツ目20号赤白、アオリーQ1.8号ピンク(BLP)はよく釣れた。

※マイカは足が弱く、マイカが強くと、マイカ自身が引く力で足が切れてしまう。すべてのリールのドラッグをゆるゆるにしておくことにした。

【料金】 船代 ¥12,500 (氷付き) ポイントがたまり、一人は¥6,250 (前は¥6,500だった)

【様子】

○2番くじだった。女性用トイレが近いところということで、右舷のミヨシから2・3番目に入った。

○昨夜は満月で、釣果が上がらなかったとのこと。ボウズの人が2名いた。竿頭は29杯だった。今日も月夜である。釣り場に行く前から気分が沈んでしまう。5杯くらい釣れればいいなと思いながら船に乗った。

○『「雨イカ」といって、雨の時がよく釣れる。梅雨時は雨の日が多く、よく釣れる。』とのこと

○風はない。霧が出ている。波はほとんどない。

○「胴付きの人は、おもり60号。イカメタルの人は20号。8時00分くらいから当たり出します。それまでは底を狙ってください。」とアナウンスがあった。

- 最初、錨を降ろしたが、潮の流れから、パラシュートによる流し釣りに変更となった。
- 今日は、自分は銅付き仕掛けとイカメタル(スピニングタックル)で、ツレは胴付きとイカメタル(ベイトタックル)ですることにした。
- オモリを試みた。釣れなかった。釣れる気がしない。ツレがイカメタルで釣った。自分もイカメタルに変えることにした。
- 退屈しない程度にあたってくる。
- 途中から当たらなくなった。霧が晴れて、月が煌々と照っている。隣の方が掛けたので、どこで釣ったか尋ねた。60mとのこと。底から巻き上げることにした。60m付近で当たりがあった。ダブルだった。
- これが最後だった。
- 月夜であることから5杯も釣れればと思っていたが、10杯を越えたのでまずまずだった。

【釣り方】

<ツレ>

- 胴付きは、最低速度で巻き上げながら、ときどき大きく竿を2~3回振り上げた。振り上げた時や、振り上げて待ったときに掛かった。5杯くらい釣った。
- イカメタルは、「待っていて、急に竿を振り上げて巻く」と当たりがあった。しばらく止めておいて、急に糸を巻いたり竿を振ったりすると掛かることが多かった。

<自分> 「止めて待つ」ことを意識した。

- 胴付きは、船長から棚は55mと教えてもらったので、55mで止めて待っていた。当たりが遠のいたときには、60m~30mまでを最低速度で巻き上げた。明確な当たりの時はスピード15でそのまま巻き上げた。当たりかなと思ったときには、急に落としたり、いきなりぎゅーんと巻いたりした。これにより当たりがはっきりしたら、スピード15で巻き上げた。
- イカメタル(スピニングタックル)は、船長から棚を55mと教えてもらっていたので、ラインで55mのところまで止めて待っていた。竿を大きく振り上げて誘いを掛けた。大きく振り上げた時や、振り上げて降ろした時、待っている時に当たりがあった。
- 改めてラインの色から水深を測ったら45mだった。釣ったイカの多くは水深が45mであった。ときどき、2~3m上げて誘った。ラインの色で水深を測ることは可能だが、カウンター付きのリールの方がよい。
- 胴付きで掛けたイカを表層を回遊していたシーラが喰ったようで、ケンサキSP赤白がなくなっていた。ケンサキSP赤白をなくした。
- エギ以外はどれにも掛かった。なくしたケンサキSP赤白のところへ浮きスッテ赤白を、掛からないエギの代わりにソフト浮きスッテ レッドイエロー2号を付けた。本当は2.5号を買うべきところを間違えて2号を買った。浮きスッテ赤白、ソフト浮きスッテ レッドイエロー2号にも掛かった。
- 自分は胴付きで6~7杯、イカメタルで6~7杯釣った。ツレは胴付きで5杯ほど、イカメタルで10杯ほど釣った。

【購入アイテム】



【次回に向けて】

- ケンサキSPは、赤白、赤緑に加え、青白、赤センを加えたらどうだろうか。(同船者が釣っていたから)
- ソフト浮きスツテ レッドイエロー2.5号をネットで検索したところ、2号は販売していたが、2.5号は見当たらなかった。
- エギは、アオリーQ1.8号ピンクを3つくらい購入したい。(胴付き用とイカメタル用として)
- ダブル、トリプルを狙わなければ、釣果は上がらない。しかし、自分たちはイカが掛かるとすぐに回収してしまう。そうであるならば、5本鉤から4本鉤に変えてはどうか。手返しがよくなる。イカメタルをしながら胴付きもするのであるなら、なおさら手返しよく釣りたい。お祭りしたときも解くのに便利である。クラゲが多いときにはスツテを綺麗にする手間が一つ分減らすことができる。
- PEラインの先にリーダーが一ヒロくらい付けてあるので、仕掛けの上糸はもっと短くて良い。
- 一番下のスツテを持っておもりを上げるとき、1.2mでは長すぎて扱いにくいことから、一番下の糸(捨糸)はもっと短くて良い。
- 以上を考えると、上糸40cm、枝間1.2mの4本鉤、捨糸80cmでどうだろうか。(全長 $1.2 \times 4 = 4.8\text{m}$)